

薬剤科の理念

医療の担い手としての自覚を持ち、
医薬品に関する知識の習得に努め、
高齢者の安全で効果的な医薬品使用に貢献すること。

チームの一員として他部門と相互に協力し、
高齢者の医療・福祉へ貢献すること。

常に患者さんに寄り添う心を持ち続けること。



平成21年度 薬剤科目標

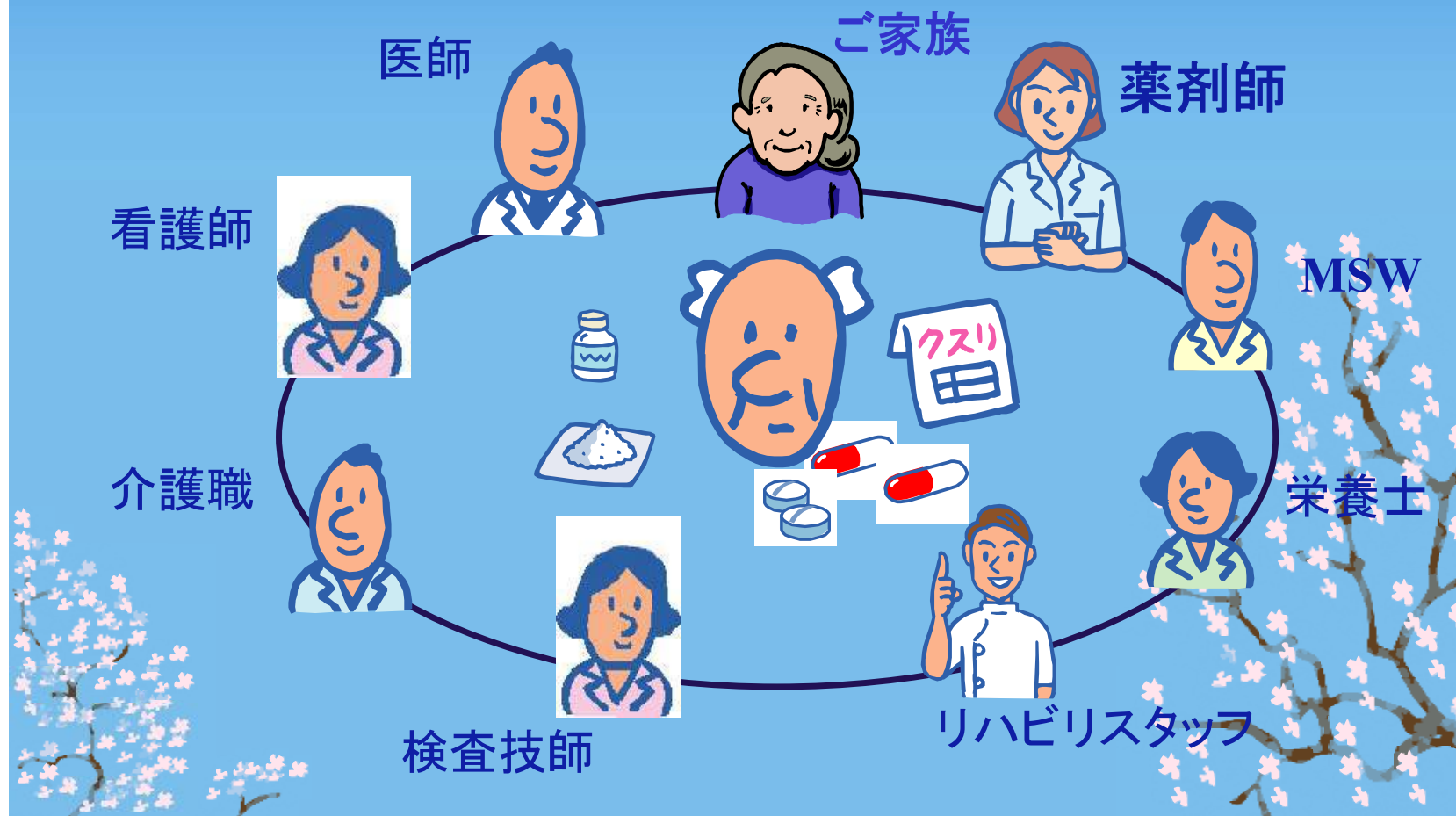


1. 個々の服薬能力の評価と支援
2. 退院時服薬指導の完全実施
3. 在宅部門の薬物療法支援の継続
4. 患者様の顔がわかる薬剤師になる！



チームの一員としての薬剤師

—信頼される薬のプロとして—



ご存知ですか？高度な医療を支える

病院薬剤師の仕事

- ◆ 調剤・製剤
- ◆ 注射薬の調剤
- ◆ 服薬説明（外来・入院）
- ◆ 薬歴管理
- ◆ 医療チームカンファレンスへの参加
- ◆ 医薬品情報の管理
- ◆ 医薬品の管理と供給
- ◆ より患者さんの近くへ
- ◆ 体の中の薬の動きを監視し処方設計する
- ◆ 新しい医療を拓く

日本病院薬剤師会ホームページより

調剤業務 一回量包装調剤・秤量調剤

服用するタイミングで一包化・印字(定期・臨時)

あさ
湯山 テスト 様

ひる
湯山 テスト 様

ゆう
湯山 テスト 様

内服開始日付指示ある場合 (臨時のみ対応)

あさ
平成17年10月14日
湯山 太郎 様

ひる
平成17年10月14日
湯山 太郎 様

ゆう
平成17年10月14日
湯山 太郎 様

平成17年7月より全自動錠剤分包機リトリア導入

一回量に分包された薬剤が出てきます



処方入力

処方箋を見て処方監査し、
処方の入力を行う。



散薬監査システム付き調剤台導入

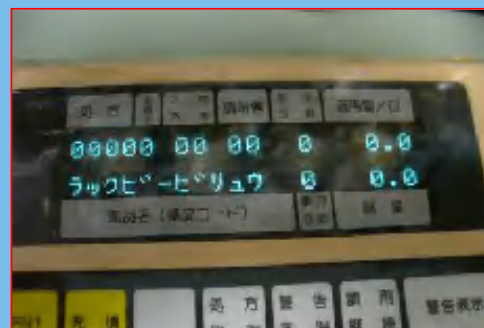
平成18年度



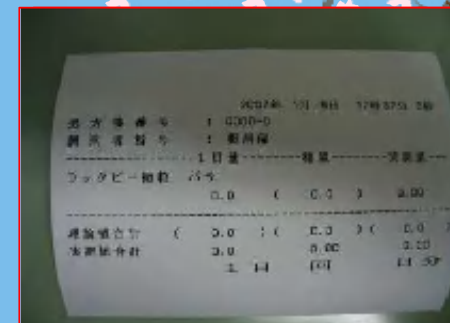
散薬分包機
患者様の名前の
印字をしています。



バーコードで読み込み



「薬品名、秤量数」表示



監査時再確認

処方監査の実施と疑義紹介

ダブルチェックの実施



監査担当の薬剤師が
一包ずつ処方薬を確認

FAX処方受付



処方箋疑義等
電話での問い合わせ確認

薬歴に基づく注射薬調剤



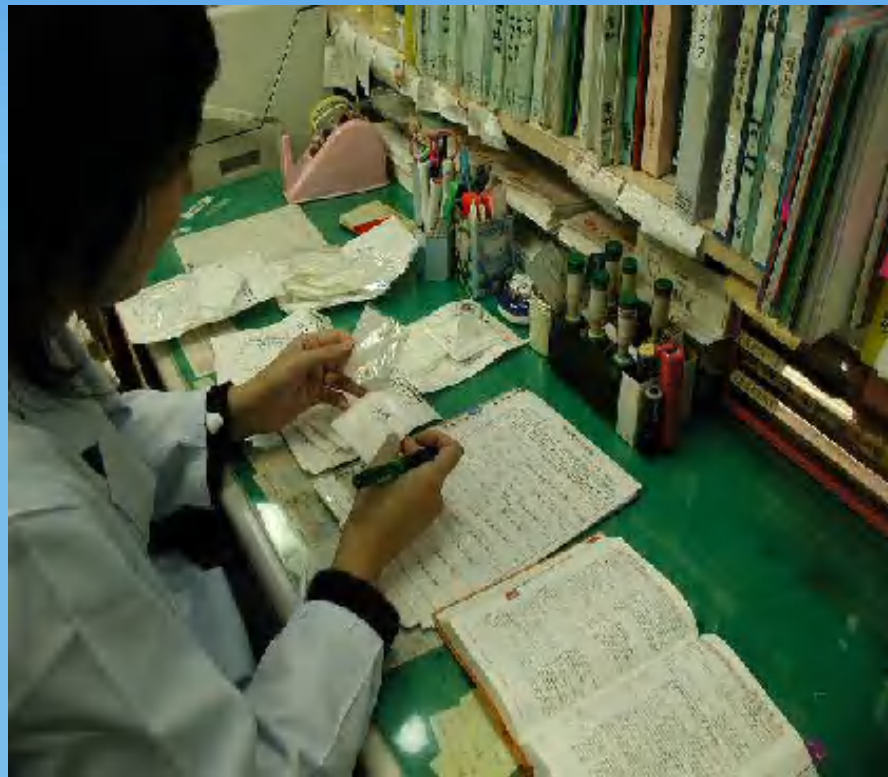
- ❖ 薬歴、患者基礎情報に基づき処方監査実施
適応症・投与量・経路・速度・期間・配合変化等
- ❖ 1患者1トレイ方式セット
- ❖ ラベル貼付し交付。
 - ・混注方法等情報提供

T P N 無菌調製



薬剤鑑別業務(持参薬管理)

- ❖ 服薬している薬を全種類調査、報告書を作成
- ❖ 院内採用薬の有無をチェックし代替え薬等情報提供。
- ❖ OTCや健康食品との関連調査



カルテから情報を収集

ナースステーションにて
カルテより情報収集

- ❖ 病名・病歴
- ❖ 薬歴
- ❖ バイタル
- ❖ 検査値
- 看護介護情報etc

★薬剤師からの情報提供





☆ 様のお薬の説明書です ☆		80歳 7ヶ月 女性															
1. アロック錠(白・淡黄色)  <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>昼</th> <th>夕</th> <th>夜前</th> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td colspan="4">1日2回食事後</td> </tr> </table> 品名 ARO		時	昼	夕	夜前	0.5	なし	なし	なし	1日2回食事後				薬の作用 痛風、高尿酸血症などに使用するお薬です。		注意事項 ●お水でお服用して下さい。飲みどしで、呼吸困難、発熱、胃腸不調など、異常ななどの症状が出た場合にはご連絡下さい。飲酒との飲み合わせに注意。	
時	昼	夕	夜前														
0.5	なし	なし	なし														
1日2回食事後																	
2. カルデナリン錠1mg(白)  <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>昼</th> <th>夕</th> <th>夜前</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>なし</td> <td>1</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td colspan="4">1日2回夕食後</td> </tr> </table> 品名 C/P002/C		時	昼	夕	夜前	1	なし	1	なし	1日2回夕食後				薬の作用 血圧を下げるお薬です。		注意事項 ●めまい、ふらつきがおこることがあります。車の運転や機械の操作をする時には注意して下さい。	
時	昼	夕	夜前														
1	なし	1	なし														
1日2回夕食後																	
3. マグナトール錠20mg(淡赤)  <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>昼</th> <th>夕</th> <th>夜前</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>なし</td> <td>1</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td colspan="4">1日2回夕食後</td> </tr> </table> 品名 AD0/BYK2		時	昼	夕	夜前	1	なし	1	なし	1日2回夕食後				薬の作用 血圧を下げたり、心臓の働きを助けるお薬です。		注意事項 ●お水やお茶の下で、温かい液体により効果が高まる場合があります。グレープフルーツジュースは1週間以上禁断してください。また、他の薬との飲み合わせに注意。	
時	昼	夕	夜前														
1	なし	1	なし														
1日2回夕食後																	
4. レニベース錠5(淡黄)  <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>昼</th> <th>夕</th> <th>夜前</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>なし</td> <td>1</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td colspan="4">1日2回食後</td> </tr> </table> 品名 RS0712		時	昼	夕	夜前	1	なし	1	なし	1日2回食後				薬の作用 血圧を下げるお薬です。		注意事項 ●めまい、ふらつきがおこることがありますので注意して下さい。●妊婦または妊娠の可能性のある人は投与期間中を避けてください。嘔吐、呼吸困難、吐き気、かすみ、鼻切れ、眼や口の腫れ、尿の量が減るなどの症状が現れた場合はご連絡下さい。	
時	昼	夕	夜前														
1	なし	1	なし														
1日2回食後																	
5. 雷力マ「ヨシダ」(白)  <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>昼</th> <th>夕</th> <th>夜前</th> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td colspan="4">1日3回毎食後 3日1.5g</td> </tr> </table> 品名 YJ001		時	昼	夕	夜前	0.5	0.5	0.5	なし	1日3回毎食後 3日1.5g				薬の作用 胃酸過多や十二指腸・小腸潰瘍、胃炎の治療薬として用いられます。		注意事項 ●多量の水で服用して下さい。	
時	昼	夕	夜前														
0.5	0.5	0.5	なし														
1日3回毎食後 3日1.5g																	

順正山病院
 〒712-0053 岡山県倉敷市西門町主計30番平高ビル2F

ケアチームの一員としての薬剤師業務

【病棟回診同行】



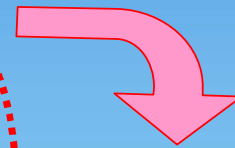
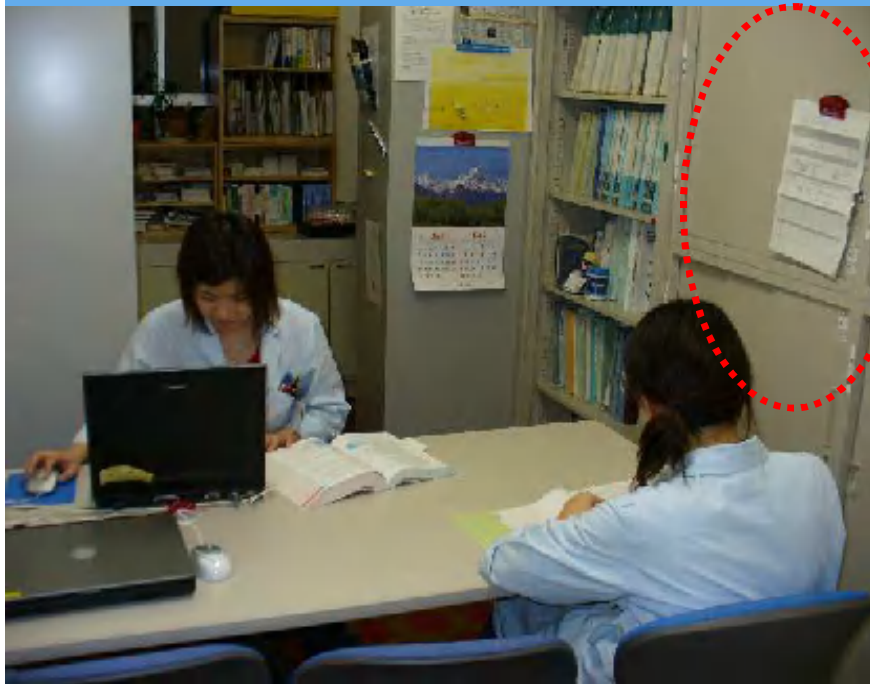
医師・看護師・看護補助者・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・栄養士・医療ソーシャルワーカー等と共に病棟回診に同行し、患者情報を共有する。

【カンファレンス】



ケアカンファレンスに参加することにより、患者情報を共有する。また、各々の視点から専門的意見を交換し治療計画・ケア計画にも反映。

医薬品情報室



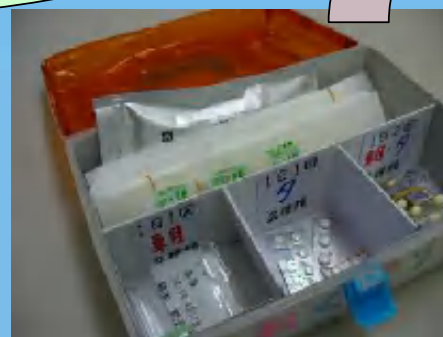
- * 添付文書や書籍類から情報の収集
- * 情報提供にインターネット利用
- * カンファレンスの情報作成
- * 患者様やご家族様への説明

薬剤管理指導記録(全患者分)

在宅へ向けて退院時指導

服薬自立支援に向けて...

お薬カードを見ながら一日分
をセットしてみてくださいネ



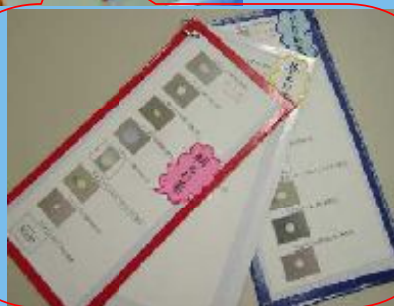
おくすり玉手箱(7日分)



1日分お薬箱

お薬カード

写真付きの説明書を
朝・昼・夕で色分けし
ています。



退院時におくすり玉手箱をプレゼント！
現在はデイケアに通われ、
自宅でお薬玉手箱を使われており
内服し忘れはない状況。
おくすり玉手箱は好評!!

—番組紹介記事—平成17年11月27日(水)放送
NHK報道番組「クローズアップ現代」

「過剰投薬」はなくせるか ～変わる高齢者医療～

医療保険財政が逼迫する中で、今年7月健康保険法が改正され、この10月から高齢者の自己負担が増加している。

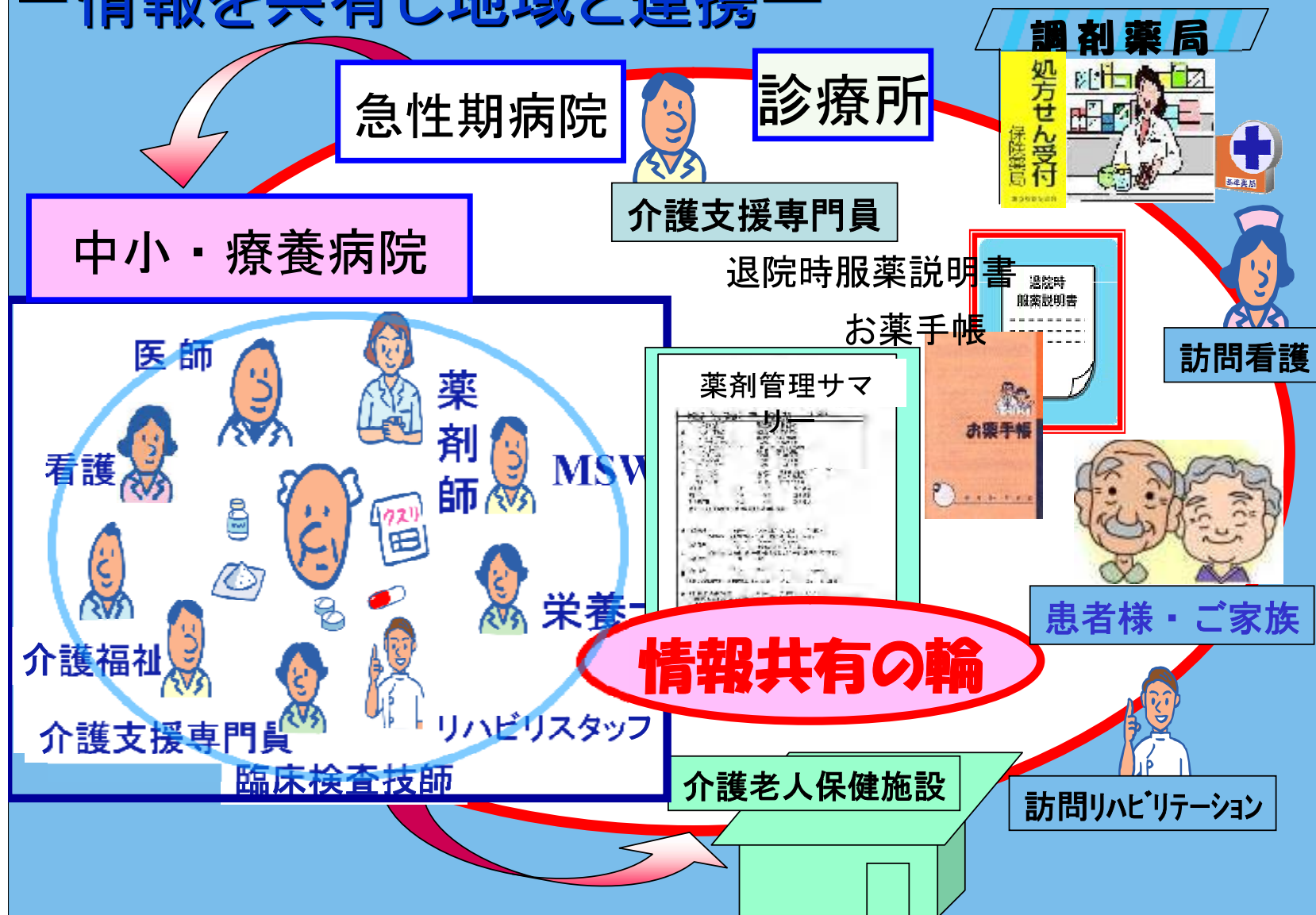
背景には、相変わらずの「薬漬け」の実態がある。かつては病院経営のためと言われてきたが、近年は、大量投与そのものが、特に75才以上の高齢者の健康被害を招いていることが大きな問題になっている。

本来高齢者は、身体の代謝機能が落ちるに従って投薬を減らす必要があるが、医者同士の連携が悪かったり、安心するため薬の処方を楽しむ家族も多い中で、必要以上に薬を服用して副作用を起こし、その副作用を抑えるために更に薬が投与されるといった例が相次いで報告されている。こうした事態に対応するため、薬剤師がイニシャティブをとって患者と面接したり、医師と同様に治療現場に関わっていく体制をとる病院も現れ、地域の在宅医療の現場にも変化が現れ始めている高齢者医療の現場で起きている「過剰投薬」の実態とその対応策を探っていく。

キャスター 国谷裕子 スタジオ出演 小宮 英美(NHK解説委員)



—情報を共有し地域と連携—



学会参加と研究報告

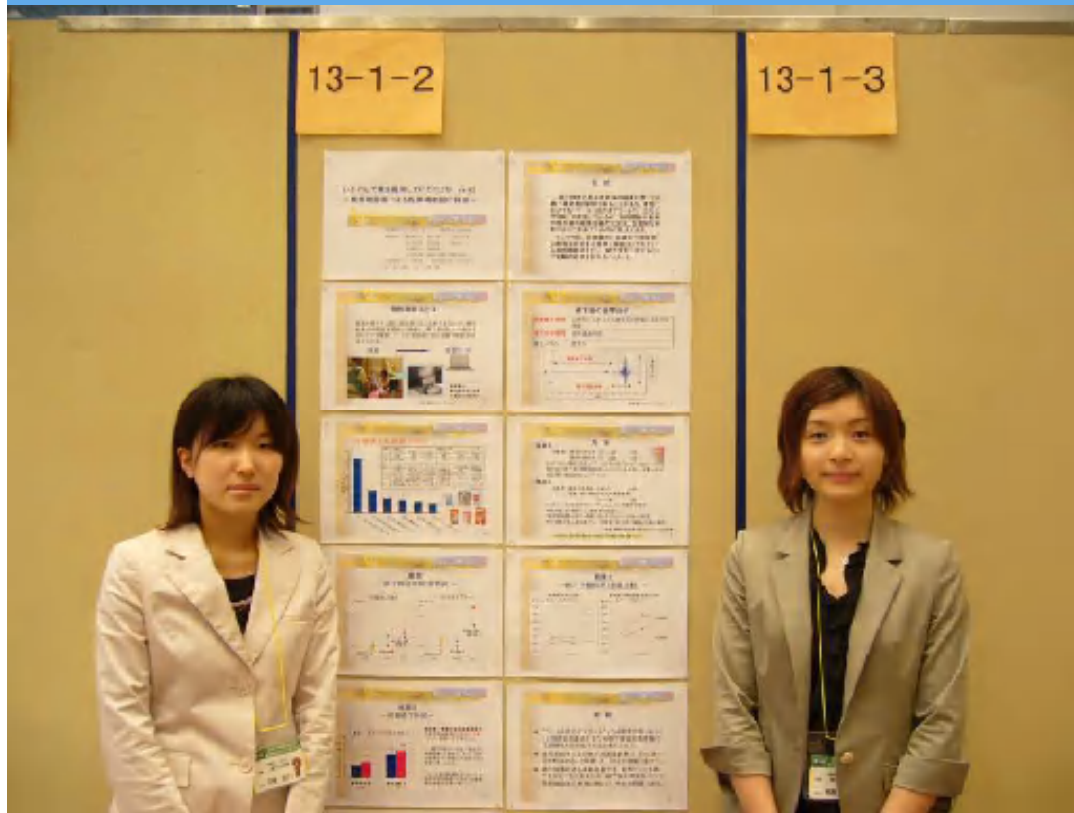
日本薬学会2005年3月



徳島文理大学医療薬学講座との共同研究

学会参加と発表報告

医療薬学会・療養病床全国研究会etc



いかにして薬を服用していただくか part2
～頸部聴診法による服薬補助剤の評価～
ポスター発表 ○敷島 弥生



2006年全国研究会in京都

高齢者医療を支える薬剤師集団を目指して！



患者さんや家族、関係者から信頼されるプロに！
仕事は、いきいき楽しく！笑顔のやさしい薬剤師に！